

平成18年度 旭市国民健康保険事業特別会計予算（施設勘定）の概要

1. 予算規模

平成18年度当初予算額	69,600千円
平成17年度当初予算額（同年ベース）	68,841千円
比 較	759千円（1.1%増）

平成18年度に運営する直営診療施設を、前年度に引き続き「滝郷診療所」1か所とし、医療保険制度改革による診療報酬等の改定を勘案するとともに、独立採算の原則に立って編成した。

これにより、繰入金是一般会計からのルール分のみを計上した。

2. 歳 入

- (1) 診療収入は、55,974千円で、対前年度3,558千円、6.8%の増を見込んだ。
内訳は、外来収入が54,393千円で、対前年度3,442千円、6.8%の増、その他の診療収入が1,581千円で、対前年度116千円、7.9%の増を見込んだ。
- (2) 繰入金は、一般会計から普通交付税算入分として7,100千円、事業勘定繰入金として1千円を計上し、財政調整基金からの繰入金は見込んでいない。
- (3) 諸収入は、587千円で、対前年度226千円、62.6%の増を見込んだ。
- (4) その他の収入は、使用料及び手数料に34千円、国庫支出金と県支出金にそれぞれ1千円、財産収入に2千円、繰越金に5,900千円を計上した。

3. 歳 出

- (1) 総務費は、人件費及び一般事務費として36,752千円、対前年度561千円、1.6%の増を見込んだ。
- (2) 医業費は、29,372千円で、対前年度978千円、3.2%の減を見込んだ。
内訳は、医療用機械器具費に50千円、医療用消耗器材費に522千円、医薬品衛生材料費に28,800千円を計上した。
- (3) その他の支出は、施設整備費に473千円、基金積立金、公債費、諸支出金にそれぞれ1千円、予備費に3,000千円を計上した。